

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウィザード	Lv.1:	メイジ	レベル	10
サポートクラス	サモナー	Lv.1:	サモナー	性別	男
称号クラス				年齢	19
種族	ヒューリン			境遇	師匠
出自 (効果)	学者			目標	人探し

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	9	8	23	22	20	9
ボーナス	3	3	2	7	7	6	3
クラス修正	0	0	0	3	2	2	1
他修正							
能力値	3	3	2	10	9	8	4

HP	65
MP	123
フェイト	4

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	アークスタッフ	至近	-1	2	0	0	0	0	0
左手									
頭部	オリハルコンの髪飾り						3		
胴部	バニッシュローブ				-1	6	-5		
補助									
装身具	真理の書								
能力値			3	0	2	0	8	11	8
スキル									
その他									
総計(右)			2	2					
総計(左)					1	6	6	11	8
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	9		3	12	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	9		3	12	+ 2 d
エネミー識別	10		3	13	+ 2 d
アイテム鑑定	10		3	13	+ 2 d
魔術判定	10	3	3	16	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
MPポーション×5	
精霊符×4	
冒険者セット	
バックパック	
ポーションホルダー	
スオウ (使い魔)	
ハナダ (使い魔)	
MPポーション×3	
ハイMPP×2	

現在重量:	14	所持金:	5625	預金・借金:	
最大重量:	14				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: キャラ作成時に任意の3つの能力基本値+1								
マジシャンズマイト	2	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果: 魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。								
コンセントレイション	1	-	Pv	-	自身	-		
効果: 魔術判定+1D								
ファミリアアタック	5	5	MA	20m	単体	感知		
効果: 貫通攻撃 (SL+2D)+CLダメージ								
ファミリア	2	-	ltm	-	自身	-		
効果: 使い魔取得								
サモン・アラクネ	5	9	DR直後	20m	範囲: 選択	自動		
効果: ダメージ軽減-[(SL)D]								
サモン・フェンリル	1	8	MA	20m	範囲: 選択	魔術		
効果: 2Dの魔法攻撃 +威圧								
ファミリアサポート	1	-	Pv	-	自身	-		
効果: サモスキルの判定+1D								
ファミリアコンビネーション	1	9	MA	-	自身	自動		
効果: ファミリアアタック+メジャースキル								
ファミリアマスタリー	1	-	Pv	-	自身	-		
効果: ファミリアアタック+1 D								
ハイサモナー	1	3	mA	-	自身	-		
効果: リアクション判定-1D								
グレートサモナー	1	-	Pv	-	自身	-		
効果: 魔法攻撃、回復、ダメ増加、軽減に+1D								
ファミリアレンド	5	-	Pv	-	自身	-		
効果: ファミアタダメージ+[SL×3]								
ファミリアプラス	1	-	ltm	-				
効果: ファミリア能力値+1								
アニマルパクト	1						シナ1	
効果: シーン攻撃にする								

「シキガミ」と呼称するファミリアの扱いに特化したダイウ古式の召喚術「オンミョウ」の術を継ぐ魔法使い。二匹のシキガミ、狛犬の「ハナダ」獅子の「スオウ」に従える。

物腰の柔らかい好青年。基本的にだれに対しても優しいが、芯は強く度胸が据わっている。

東方では珍しい白髪の少年で、生まれた頃に「忌み子」として捨てられ、「オンミョウ」術の伝道師であり、名のある考古学者でもある師匠に拾われる。彼のもとで育てられ「オンミョウ」の術を学び修行にいそしんでいた。ところがある日、突如として師匠がハクジのもとから姿を消す。彼に残されたのは、元々師匠が使役していた二匹のシキガミ「スオウ」と「ハナダ」そして「西へ行く」と言いつづられた置き紙だけだった。師匠を探するため、彼の背中を追いかけるため、ハクジもまたダイウを離れ西を目指すことに。

幼い頃、「ココヨウ」という少女と交流しており、幼きハクジは淡い想いを秘めていた。しかし、大人になって「黒の乱」という西方の神官暗殺未遂事件を起こしたのが彼女というのを知る。その真実をずっと気にかけてながら数年間を過ごしていたが、思い出の地とははるか遠い西方にてオプシディアを名乗るココヨウとばったり再会することとなるが――

